

甲府市議会だより

第 103 号

平成 6 年 11 月 15 日

編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (35) 7054

甲府市議会事務局



甲府大好きまつり

中学校給食調査事業費を含む 一般会計補正予算など 24案件を可決・同意

9月定例会

九月定例会は、九月二十六日に招集され、会期を十月七日までの十二日間と決め、市長から提出された補正予算、条例の一部改正、市道路線の認定、人事案件など二十四案件について審議しました。

招集日には、友好都市である中国四川省成都市の友好代表团一行が議会を表敬訪問、歓迎式典を行い、友好を深めました。

市政一般質問及び議案に対する質疑は、各会派より七名が代表質問・一般質問を行い、市長等に答弁を求めました。

各常任委員会では、本会議においてそれぞれ付託された所管の案件について、慎重に審査しました。

そして、最終日の本会議では、各常任委員長より付託案件の審査結果が報告され、公平委員会委員の選任及び教育委員会委員の任命にそれぞれ同意し、他の提出議案については、いずれも当局原案のとおり可決するとともに、国への意見書一件についても可決しました。

このほか、平成五年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査とすることを決め閉会しました。

おもな内容・ページ

- 九月定例会要旨……………①
- 市政質問／定例会審議日程……………②
- 市政質問／定例会質問要旨……………③
- 市政質問／決算審査特別委員会の設置……………④
- 常任委員会審査の主な内容……………⑤
- 討論／請願・陳情の審査結果……………⑥
- 議会関係各室内……………⑦
- 成都市表敬訪問／市政功労表彰者……………⑧

市 政

質 問



地域づくりは
市民の手で

エコプランの

実行性は

市政全般に対する代表質問・一般質問は三日、四日、五日の三日間行われ、各会派より七名の議員が、市長の政治姿勢、市の庁舎問題、中学校給食の試行、図書館行政、行財政改革、高齢者福祉問題、環境行政、エコプランなどについて市の考え方をたしました。

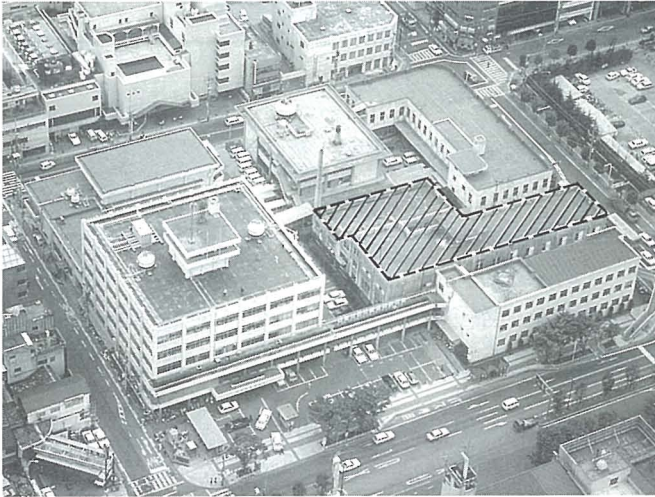
主な質問と答弁の一部についての要旨は、次のとおりです。

庁 舎 全 景

NTT錦ビル

年度内取得を目指す

早期交換契約に努力



【問】NTT錦ビルの取得は、長い年月をかけて市側が取り組んできたところであるが、取得交渉は、

本年度末を限度と定めて精力的に取り組むべきであると考えているが、今日までの交渉の経過と取得につ

【問】アンケート調査報告書によると、市民要望は、生活環境の改善、福祉・医療分野の向上、地場産業の振興などに集約され、本市の行政課題を追認するものとなっている。エコプランが策定された後の、その計画の実行性と総合計画との整合性を示せ。

【答】エコプランは、地域のまちづくりを市民自らが計画し、この計画を市民自らが実施し、特色

ある地域社会を創造していこうとするものです。

現在、この考えを基本に市内五ブロックにおいて、自主的に、精力的に計画の策定が進められております。

エコプラン策定の基礎資料にしましたアンケート調査にも、第三次総合計画の重点施策のレインボープラン七大プロジェクトにかかる多くの市民要望が寄せられ、市政の重要課題であると認識しております。

市民が主体性を持って推進する「エコプラン」は、本年中に策定される予定となっております。大いに期待しているところであります。

策定された計画は、甲府市エコ的に意見が一致したところであります。

【答】NTT錦局の取得については、昭和五十四年以来、当時の電々公社、現在のNTTと取得についての交渉を進めて来ましたが、当該地の評価額の点、希望する代替地の点など幾多の障壁に突き当たり、妥協点を見ることが出来ず、年を重ねてきたところであります。

その後、平成四年度に本市の熱意がNTTに理解され、以降数次の交渉を重ねた結果、昨年に、NTT錦局一、五九〇・〇八平方メートルと本市西別館一・二号館と水道局車庫を含む、合計一、一三六・七五平方メートルを交換することで基本

現在、鑑定士による物件評価を実施し、算定額のすり合わせの折衝を重ねているところであり、本年度中の取得を目指して、早期の交換契約に向け努力してまいります。

【問】NTT錦局の取得は、長い年月をかけて市側が取り組んできたところであるが、取得交渉は、本年度末を限度と定めて精力的に取り組むべきであると考えているが、今日までの交渉の経過と取得につ

プラン推進会議において、それぞれの地域間調整を行い、これを平成七年度から行う第三次総合計画の見直しの中で、既に策定されている諸計画との整合性を図り、これの積極的反映に努め、このプラン実現のための支援を行いたいと考えております。

エコプランの推進は、市民の理解と協力が絶対的必要条件であるので、その理解を得るべく、市内二十六地区で、プラン策定の中間報告会を既に実施しました。

今後は、プランをまとめた冊子の発行などにより啓蒙啓発に努めたいと考えております。

九月定例会

審議日程

9月26日(月)

開会、成都市代表団
歓迎式典、提案理由
の説明、民生文教委
員会、本会議

議案調査のため休会

10月1日(土)

休会

2日(日)

3日(月)

本会議、質疑及び市
政一般質問

4日(火)

本会議、質疑及び市
政一般質問、各常任
委員会付託

5日(水)

各常任委員会

6日(木)

本会議、各常任委員
長報告、決算審査特
別委員会設置、閉会

7日(金)

新清掃工場

余熱利用による
施設内容は



建設中の新清掃工場

るため、リサイクルプラザはごみ処理施設の一環として都市計画決定がされたものであり、小牧市のようなレジャー施設的な余熱利用施設の建設は困難であります。リサイクルプラザ建設事業については、平成六年度に基本設計、平成七年度に実施設計及び建設に

着手を予定しております。具体的内容は、
一、環境総合教育施設の建設
二、不用品交換施設の建設
三、再生整備施設の整備等を事業としており、予算については、基本設計の中で検討する予定であります。

入院給食費有料化

高齢者に対する助成は

【問】本市の高齢者福祉政策の根幹である、六十五才以上医療費無料制度を堅持するため、高齢者に対して、入院給食費有料化分を助成する考えはないか。

【答】健康保険法等の一部改正により、新たに導入された入院時食事療養費については、現行制度において、在宅の方と入院している方などの間で、費用負担に格差があることから、入院時の食事について、平均的な家庭の食費を標準負担額として、その一部を入院時に負担をお願いし、入院と在宅等の負担の公平化を図る趣旨で法改正が行われたものです。

入院時食事療養費の高齢者を対象とする、本人一部負担の無料化、または助成制度の導入については、県においても制度の導入はしないとの決定がされております。



法改正の趣旨、県の方針と、またこれに係る対象者は非常に多数見込まれることから、市独自の無料化、助成等は莫大な財政負担を伴うので、現時点での助成制度等の導入は難しいと考えております。

なお、現行の六十五才以上の医療費無料化については、高齢化に伴う対象者の増や、厳しい財政状況下ではありますが、現行制度の堅持に努めてまいります。

平成6年9月定例会質問要旨

氏名	会派	質問の要旨
宮川 章司	市政クラブ 代表質問	一 中学校給食について 一 新病院建設の現状について 一 中小企業対策について
岡田 修	日本共産党 代表質問	一 市長の政治姿勢について 一 福祉の向上について 一 環境整備充実について
村山 二永	新政クラブ 代表質問	一 財政問題について 一 行政全般の効率化について 一 庁舎建設問題とNTT用地問題について
飯沼 忠	新政クラブ 一般質問	一 地方分権と都市経営戦略について 一 高齢者保健福祉計画について 一 都市計画と基盤整備について
狐塚 公男	新政クラブ 一般質問	一 組織改革について 一 中学校給食試行について 一 図書館行政について
雨宮 年江	新社会クラブ 代表質問	一 水道事業について 一 教育関係について 一 ごみ焼却の余熱利用施設について
堀内 征治	公明党 代表質問	一 財政難局下の行政運営について 一 エコプランの実行性について 一 緑のネットワークと環境問題について

中学校給食

給食・弁当併用方式で
実験的に検証

【問】中学校給食問題は、その賛否について、長い間議会で論議されてきた。今議会に中学校給食調査推進事業費が、補正予算として提案されたが、西中一年生の希望調査結果は、弁当希望者が若干多い状況にある。これに対する評価と、試行の具体的な進め方を示せ。

【答】生徒の意向調査結果については、生徒の給食に対する意向の多様化の結果であると考えております。

今回の試行は、机上の論議から一歩踏み出し、実際に給食を供給することにより、教育課程等どのようななかかわりが出てくるかを実験的に検証するものです。

試行の具体的な進め方については、弁当持参と給食を同時に取り入れた、併用方式で行うことを基本としており、現在、中学校給食調査研究会及び学校現場において、試行に際しての学級運営への影響、生徒の活動の変化など具体的な調

図書館行政

広域的圏域の
ネットワーク化

【問】市民の生涯学習の核として、新市立図書館を建設中であるが、望ましい図書館行政の在り方として、広域的圏域を考え、その中で分館構想を持つ考えはないか。また、新図書館までの距離を考えると補完施設の必要性があるが、考え方を示せ。

【答】本年十一月、「山梨県図書館情報ネットワーク」が完成すると、石和、昭和、敷島の各館がこのシステムに参加することになります。

現在、計画段階にある甲府、田富、竜王、双葉も今後このシステムに参加し、一大ネットワーク化が図られ、その中で本市は、中核都市としての使命を果たし、他館と協力しながら、その役割に努めてまいりたいと考えます。

次に、新市立図書館を中核として、市内各所に分館が設置されることが最も理想的な図書館配置かと思いますが、本市には公民館に図書室が設置され、分館的機能を

査事項を整理しているところであります。

今議会での補正予算の審議をいただいた後、学校現場における施設の整備、備品の調達などの諸準備を整え、本年十二月には試行開始となるよう取り組んでまいります。

地方の時代

行政の
体質強化を

【問】本年末に予定されている地方分権大綱や地方自治法改正などによる「地方の時代」に求められているのは、主体性、自立性を持った都市経営能力である。分権時代に対応できる行政の体質強化など行財政改革の総合的な考え方を示せ。

【答】地方分権の推進は、時代の大きな流れともなり、地方自治体自らに一層の責任と自覚を求めてきております。

分権の受皿づくりのためには、都市経営の視点に立ち、限られた果たし、市民の利用に供しており、新市立図書館完成時までは、この図書室の機能を高め、本館とネットワーク化を図り、更に蔵書の補完も行つてまいります。

資源を効率的に活用し、変化に的確に対応しうる行財政基盤の確立が必要であります。

本市が行う自主的行政改革は、地域性、独自性を尊重し、積極的な取り組みを行ってまいります。その重点とするところは、政策的自立を目指した行政体質強化へ向けての新たな組織の確立にあります。

また、職員の資質の向上や、政策型の庁内風土の醸成も必要であるので、それを裏付ける人事管理、職員研修など相互関連の上に立ち、総合的、統一的に運用できる体制の整備を併せて検討してまいります。

読者のご意見にお答えします

市政質問の中に、なぜ質問者名を入れないのかのご意見がありました。市議会だよりは、議員個人の活動を公表する議会広報誌ではありません。各会派ごとの発言機会の公平性及び議会の公共性を考え、質問の欄には質問者名を入れずに、質問要旨の中で会派・氏名等を掲載しております。

なお、質問者名等の詳細については、市立図書館、市役所本庁舎三階公文書公開コーナーにある会議録をご覧ください。

決算審査特別委員会を設置

委員長
福島 勇

副委員長
清水 節子

委員
村山 二永
小野 雄造
海野平八郎
出井 数馬
斉藤 憲二
細田 清

剣持 庸雄
末木 隆義
狐塚 公男
堀内 光雄
岡田 修

本定例会に「平成五年度甲府市各会計別決算の認定について」、「平成五年度甲府市各企業会計別決算の認定について」の議案が提出されました。

議会では、十月七日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」を設置しました。

そして、委員十三名を次のとおり決め、閉会中の継続審査に付することになりました。

委員会の審査結果は、十二月定例会で報告する予定です。

常任委員会

審査の

主な内容

総務委員会

◆甲府市違法駐車等の防止に関する条例を制定



よう体制を整え、平和通りの交通渋滞緩和に努めるとともに、今後は、県及び警察等関係機関とも協議をする中で、駐車スペースの確保・拡大を図り、条例制定の効果が上がるとの取り組みでいくとの答弁がありました。

◆「核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結を求める意見書」採択を要請する請願を不採択

ソ連の崩壊以降、核兵器は世界中に流出しつつあり、以前にもまして核の脅威は増している。被爆国である日本は、率先して核兵器全面禁止の意思表示を行うため採択すべきとの意見と、既に甲府市及び甲府市議会は同様な趣旨の意見書を提出したり、決議を行っておりその意思表示は十分なされているので採択は不必要であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって不採択とするものと決しました。

◆甲府市一般会計補正予算（第二号）を可決

広域行政推進費に関し、本市で進めているオフィス・アルカディア構想の規模及び事業費についてたまたしたのに対し、この事業は地方拠点法に基づき産業業務施設の立地・集積を目指すものであり、本市の東南部方面に三十（ハ）から五十（ハ）の規模のものを計画している。事業費は調査結果を待たないと明らかにできないが、用地取得費で

二百億円ぐらいが予想されとの答弁がありました。

また、多額な財政負担によるしわ寄せが市民に及ぶことが予測されるので本事業には反対であるとの意見が出されました。

次に、市民税等減税補てん償については、償還金が財政需要額に算定されるとしても、その実額が補てんされるわけではないので、今後は、事業の抜本的な見直しを行い健全財政を保つことを要望する意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

文教委員会

◆甲府市一般会計補正予算（第二号）を可決

中学校給食調査推進事業費については、生徒の希望調査の結果、給食希望者と弁当希望者の割合がほぼ同数であるので、試行に当たっては、学校等現場サイドの意見を尊重し、また、保護者の理解を得ながら十二月から給食と弁当を同時にいう「併用方式」で試行していく旨明らかにされました。

これに対し、積極的に現場の教師等との話し合いを行い、十分な調整を行った上で試行すべきだとの要望、意見がありました。

◆甲府市ホームヘルパー等派遣手数料条例の一部を改正

手数料の増額改定は、ホームヘルパー等の派遣を受ける世帯にとつては経済的に過重な負担となり、派遣回数減少につながり、福祉の後退になるとの強い反対意見が出されましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆市立甲府病院使用料等徴収条例の一部改正など四案を可決

市立甲府病院使用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について、甲府市高齢者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について、甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について及び甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）の四案については、それぞれ反対意見が出されましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済委員会

◆付託された案件を全て可決

区域外における公の施設の設置に関する協議については二案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

次に、「食料と農業・環境を守り、農山村の活性化の確立」を求める陳情については、全員異議なく採択するものと決しました。

建設委員会

◆甲府市下水道事業会計補正予算（第一号）を可決

平成六年三月末の下水道普及率七・一〇（ハ）は、第六期甲府市下水道事業計画終了時にはどのくらいになるかとたまたしたのに対し、平成二年度から六年計画で実施している事業計画で、最終年次での普及率は七六・八（ハ）を目指しており、現在、年間約百八十五（ハ）のペースで事業を推進しているとの答弁がありました。

◆甲府市一般会計補正予算（第二号）を可決

里吉団地建設事業に関し、同事業を第二種住宅から特定公共賃貸住宅に変更した経過等についてたまたしたのに対し、公営住宅法では入居対象とならない中堅所得者の住宅需要に配慮するため、国は、平成五年五月「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律」を制定した。県は、今年六月地方財政計画及び国の予算が確定する中で、特定公共賃貸住宅百戸の住宅建設を促進することになり、県の指導を受ける中、本市でも、収入基準が低い第一種・第二種住宅及び地域特別賃貸住宅等に入居できなかった中堅所得者が入居できるよう事業の変更を行ったものであるとの答弁がありました。

反対討論要旨

市立甲府病院使用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について

病院給食は、健康保険法成立以来、入院時の療養給付の範囲として扱われ、疾病治療の一環としてますます重要な役割を担っている。療養給付から除外することは、保険給付範囲の縮小であるばかりでなく、医学的常識や治療の常識を無視したものである。患者にとって、保険はすし・有料化により入

院もままならない事態が起こることは明らかである。また、負担額が高額療養費の対象に含まれない

請願・陳情の審査結果

請願

▼継続審査するもの

〔総務委員会〕

- 法務局職員の増員に関する請願（全法務労働組合東京地方本部甲府支部長・小保久）
- 消費税率引き上げ反対の意見書提出を求める請願（消費税反対甲



意見書提出

「食料と農業・環境を守り、農山村の活性化の確立」を求める意見書

わが国の農業は、農産物の需給不均衡、農業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい環境にある。

特に中山間地域においては、高齢化が著しく進展し、緊急の対策が求められている。

このような中、政府が、昨年十二月のガット・ウルグアイ・ラウンドにおいて、米の部分開放及び他の農畜産物の完全自由化の受け入れを決定したことか

ら、今後、わが国の農業に重大な影響を及ぼすことが懸念される。

よって、政府におかれては国内における食料の安定生産供給対策を明確にし、長期的なビジョンに立った効率的・安定的な農業基盤を早急に確立されるよう強く要望する。

（提出先）内閣総理大臣
大蔵大臣 農林水産大臣

ため、全額が患者負担となる点でも重大な改悪である。よって、この条制改正には反対する。

府各界連絡会甲府民主商工会会長・相沢平次郎ほか）

〔民生文教委員会〕

- 中学校完全給食を求める請願（甲府市の中学校給食を実現する連絡会会長・小林豊子）
- 高齢者保健福祉計画の実効ある推進を求める請願（甲府市高齢者保健福祉計画を市民本位に実現する連絡会代表・清水浩）
- 老人健診の選択検査に腹部超音波検査を追加することを求める請願（甲府共立老人健診連絡会代表・手塚佳樹）

▼不採択になったもの

〔総務委員会〕

- 「核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結を求める意見書」採択を要請する請願（原水爆禁止山梨県協議会理事長・阪本高）

陳情

▼採択されたもの

〔経済都市開発委員会〕

- 「食料と農業・環境を守り、農山村の活性化の確立」を求める陳

情（食とみどり・水を守る山梨県民会議議長・赤岡直人）

▼継続審査するもの

〔総務委員会〕

- 消費税率の引き上げ反対を求める陳情（山梨県建設組合連合会甲府建築従事者労働組合組合長・宮原正則）

〔民生文教委員会〕

- 中学校完全給食導入について（甲府市小中学校PTA連合会会長・山村勝一ほか）

議会日誌



8月

- 9日 行政効率化調査特別委員会
- 11日 議会だより編集委員会
- 18日 県市議会議員親善野球大会
- 22日 各会派代表者会議
- 26日 行政効率化調査特別委員会

小沢綱雄 議員
早川武男 議員

自治大臣感謝状

このたび、小沢綱雄、早川武男の両議員は、市議会議員として三十五年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったことが認

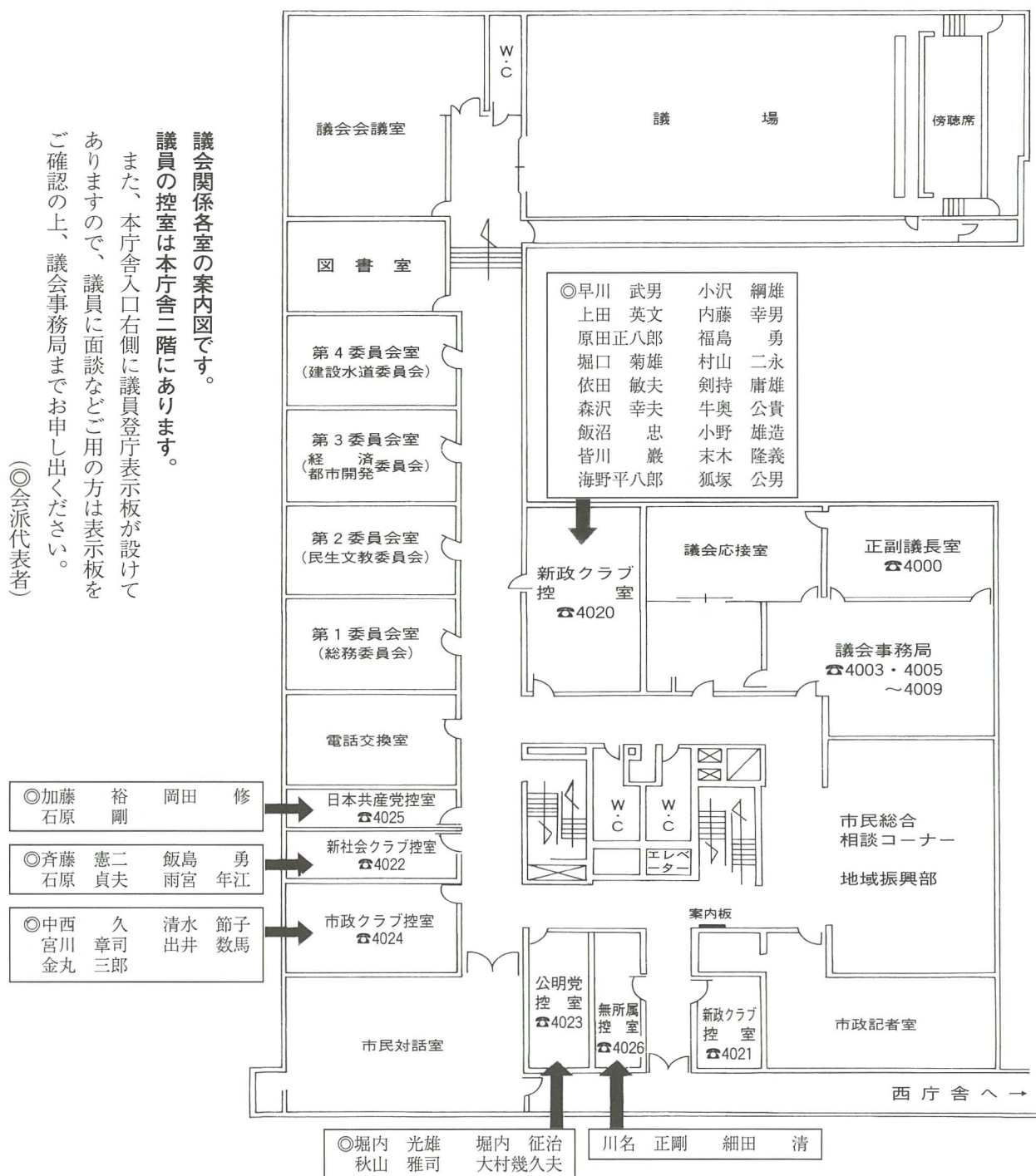
- | | |
|-----|--------------------------------|
| 9月 | 3日 各会派代表者会議 |
| | 6日～7日 総務委員会行政視察
建設水道委員会行政視察 |
| | 8日～9日 経済都市開発委員会行政視察 |
| | 13日～14日 民生文教委員会行政視察 |
| | 19日 行政効率化調査特別委員会 |
| | 22日 議会運営委員会 |
| | 26日～10月7日 九月定例会 |
| 10月 | 5日 議会運営委員会 |
| | 7日 議会運営委員会 |
| | 17日 各会派代表者会議 |
| | 18日 経済都市開発委員会現地視察 |
| | 19日 建設水道委員会現地視察 |
| | 20日～22日 議員交流研修会（大和郡山市視察） |
| | 24日 民生文教委員会現地視察 |
| | 31日～11月1日 議員交流研修会（大和郡山市来甲） |

められ、十月十四日、東京・東條会館において行われた「都道府県議会議員・市町村議会議員への自治大臣感謝状贈呈式」において、自治大臣より感謝状と記念品が贈られました。

なお、本年度の対象者は全国で二百七十七人、このうち市議会議員は六十三人。

議会関係各室案内

電話代表
(0552)37-1161



《本庁舎正面入口》

市民の皆様へ

政治家は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等を出すことは禁止されております。

市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

甲府市議会議員一同

「声の市議会だより」
をご利用下さい

目の不自由な方のために、紙面の全文を吹き込んだカセットテープをお貸ししていますので、ご家族やお知り合いの方でご希望の方がありましたら、議会事務局調査係(貳三七一―一六一内線四〇〇七)までご連絡ください。

成都市友好代表団 議会を表敬訪問



本市と中国四川省成都市の友好都市締結十周年記念式典が九月二十七日に行われましたが、これに出席するために来甲した王榮軒（おうえいけん）成都市長ら代表団六名が、本定例会の初日に市議会を表敬訪問しました。議場において歓迎式典を行い、山本市長からは「両市の友好関係は率直で飾りがなく、真実によって結ばれており、経済・文化・教育などの多方面にわたり、技術的・精神的に深い影響をお互いに受け、日中両国

民の相互理解に十分な役割を果たしていることを誇らしく思う。今後とも両市友好親善が一層深まるよう、あらゆる面で協力し、両市の永遠の結がりを祈念する。」とあいさ

姉妹都市・大和郡山市

議員相互研修

平成四年に、国内で初の姉妹都市を締結した奈良県大和郡山市の議員団（議長 田村雅男）一行十二名が、十月三十一日に来甲しました。

両市の議員交流事業の一環とし



つ、また、王榮軒市長が「友好都市締結以来、文化・経済などの各分野で友好を深め、この間多くの成果を挙げてきた。これは議員各位の協力によるものであり、深く敬意と感謝を表する。今後とも両市の交流を、両市民の協力を得ながらますます深めていきたい。」と表敬のあいさつがあり、熱烈的な拍手が送られました。

で、議会運営の在り方などについて熱心に研修されるとともに、両市議会の交流を深めました。

なお、これに先立ち、本市議会の議会運営委員会委員及び各常任

あなたも本会議を 傍聴してみませんか

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や、市政の方針、審議状況を直接傍聴することができます。傍聴手続きは、直接議場（市役所本庁舎二階）に来ていただき、傍聴人受付簿に自己の住所、氏名及び年齢等を記入するだけでどなたでも傍聴できます。

次の定例会は、十二月の予定です。お誘い合わせのうえお越し下さい。



市政功労表彰者五氏を可決

地方自治の発展、市政の推進などに寄与した功績が多であることから、甲府市市政功労表彰者詮衡委員会の答申に基づき、寺田貞雄氏、小島照茂氏、萩原秋子さん、佐々木芳岡氏、橘田豊雄氏、全員異議なく当局原案のとおり可決されました。



小島 照茂氏



寺田 貞雄氏



佐々木芳岡氏



萩原 秋子さん



橘田 豊雄氏

公平委員会委員 など決まる

本定例会に、公平委員会委員の選任及び教育委員会委員の任命についての議案が提出され、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意しました。

公平委員会委員

丸茂 嘉男

教育委員会委員

金丸 晃

編集後記

「市議会だより」について、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。

編集委員会事務局

三五―七〇五四